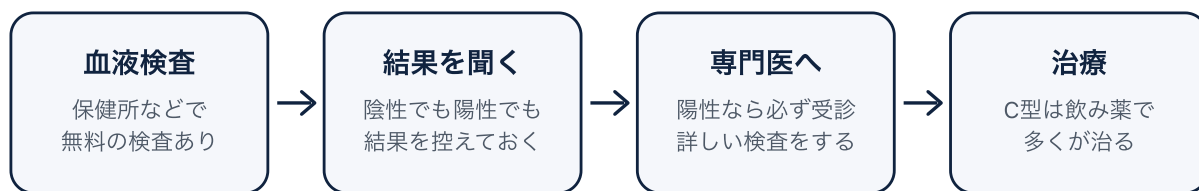


肝炎ウイルス検査を、一生に一度は

肝臓は「沈黙の臓器」と言われ、B型・C型の肝炎ウイルスに感染していても、自覚症状はほとんどありません。気づかないまま、肝硬変や肝がんに進むことがあります。国は、すべての人が少なくとも一回は検査を受けることを勧めています。



検査の受け方

- ・血液を数mLとるだけの検査です
- ・保健所や自治体が委託する医療機関で、無料で受けられます。市町村の検診もあります
- ・日程や場所、申し込み方法は自治体で違います。市町村や保健所にお問い合わせください
- ・健康診断で受けていることもあります。以前の結果を確かめてみてください

とくに受けてほしい方（C型肝炎）

1992年以前に大きな手術や輸血を受けた方、ご家族にC型肝炎ウイルスの陽性の方がいる方。

陽性だったら

必ず一度、肝臓の専門医を受診してください。C型は抗体が陽性でも、すでにウイルスが消えている方がいるため、詳しい検査で確かめます。C型の治療は飲み薬が中心で、慢性肝炎や、進みすぎている肝硬変で初めて治療する場合、95%以上の方がウイルスを体からなくせます。B型にも、ウイルスが増えるのを抑える治療があります。ウイルスが消えたあとも、肝臓の検査は続けます。

費用の助成

- ・陽性とわかった方の、最初の精密検査と定期検査の費用の助成
- ・B型・C型の治療費: 所得に応じ、自己負担は原則月1万円（所得の多い世帯は2万円）まで

窓口は都道府県です。担当医や保健所にご相談ください。

こんなときは相談してください

- ・以前に陽性と言われたが、専門医を受診していないとき、または結果を覚えていないとき
- ・だるさや食欲のなさが続く、白目や皮膚が黄色い、むくむ、おなかがふくらむといったとき

この紙は、担当医の説明を補うものです。診断や治療の指示ではありません。気になることは担当医にご相談ください。

出典: 厚生労働省「肝炎総合対策の推進」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kanen/index.html / 厚生労働省「肝炎ウイルス検査」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kanen/kangan/hepatitis_kensa.html / 国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター「C型肝炎」 https://www.kanen.jihs.go.jp/sick/kinds/c_gata.html

作成: マナヴィア（MANNAVIA、現役内科医） / 最終確認: 2026/09/15 / 製薬会社の資金は受けていません / mannavia.com/leaflets/hepatitis-virus-test